

果樹試験場の取り組み・・・落葉果樹研究担当編

落葉果樹はナシ、ブドウをはじめモモ、スモモ、カキ、ブルーベリー、ウメなど品目が
多い果樹です。管理が大変ですが収穫の喜びを味わえる果樹ですのでこれまで取り組まれ
たことのない方も一度チャレンジされてはいかがでしょうか。落葉果樹研究担当でもいろ
いろなアドバイスができますので、わからないことがあれば遠慮なくお問い合わせくださ
い。

現在取り組んでいる試験内容ですが、ナシ、ブドウを中心に、施設、露地栽培における
高品質果実の安定多収生産、省力化や早期成園化を目指した技術開発を行っています。

ナシでは現在 3 つの課題に取り組んでいます。一つは最近多くなっているナシの「発芽
不良」の課題です。本年は発芽不良の発生が多くなっており、その改善対策に取り組んで
います。これまでの研究で発芽不良が発生する要因についてはとりまとめることができ、
リーフレットを作成し、生産者に配布しています。今後発芽不良の軽減対策をとりまとめ
マニュアル作成を行いたいと考えています。

二つ目の課題はナシの早期成園化を目指した根域制限栽培の取り組みです。1 年育成した
大苗を利用することと根域制限栽培を行うことで、植え付けから結実までの期間を短くし、
植え付け 5 年後には 3 t の収量をあげることが目標に試験に取り組んでいます。根域制限裁
培は現地でも取り組みがあり、高品質な果実生産が行われています。

3 つ目は夏季の高温や晩霜対策への取り組みです。具体的には樹上散水を行うことで夏季
の温度を下げることで果実の品質向上や生理障害防止につなげる研究と氷結法による晩霜
被害の軽減対策を行っています。

ブドウでは「シャインマスカット」を中心に近年栽培が増加している黄緑色系品種の安
定生産を図るための課題を行っています。品質向上はもちろん収量増加を目標に取り組ん
でいます。中でも「シャインマスカット」は食味がよく、市場評価も高い品種ですが安定
生産ができるようになるまでに 4 年程度かかることが課題となっています。今後は栽培マ
ニュアルの作成を行っていく予定です。

最後の課題はブルーベリーとスモモの課題です。近年ブルーベリーに取り組まれる生産
者が増えているため、本県に適した品種の選抜や安定生産対策に取り組んでいます。スモ
モでは大玉で品質がよい「貴陽」について結実安定、高品質化生産に向けて試験を行っ
ています。

今後さらに温暖化が進むことが考えられるため、対応した技術開発や有望な新品種の選

抜などを行い、生産者の所得向上の手助けをできればと考えています。共にがんばって落葉果樹の安定生産を図りましょう。



写真1 ナシの根域制限栽培
早期成園化、高品質化を図っています。



写真2 ブドウの根域制限栽培
省力化を図るため短梢せん定の有核栽培にも取り組んでいます



写真3 ブドウ「シャインマスカット」
収量2tを目標に安定生産に向け試験を行っています



写真4 ブルーベリーの開花状況
ブルーベリーは酸性の土壌を好むため栽培にあたっては
ピートモスを土壌と混和して pH を下げる必要があります